

平成 30 年度 学校運営計画

1. 本校の性格と任務	①教育基本法および学校教育法に基づいて、中等普通教育を行う。 ②教育の理論・実践に関する研究とその実験・実証を行う。 ③金沢大学学校教育学類の学生に対して教育実習の指導を行うとともに、金沢大学教職実践研究科院生に対して学校実習等を通しての研究に協力する。また、授業実践の指導も行う。	
2. 教育目標	自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。 ≪目指す生徒像≫ ①自ら考え学ぶ生徒 ②お互いに認め合い、助け合う生徒 ③心身ともにたくましい生徒	
3. 本校の経営方針	①金沢大学の方針、規則に沿った学校運営を行う。 ②学校教育学類、教職実践研究科や他の附属学校園との連携を密にして、附属学校としての任務の遂行にあたる。 ③生徒や教職員の自主性を尊重しながら、教育目標や目指す生徒像の具現化を図る。 ④金沢大学附属中学校のよき伝統を受け継ぎ、より良い校風の樹立と継承をめざす。	
4. 今年度の重点目標	①E S Dを基盤にしながら、各教科等の連携による体系的な伝統文化教育に関する実践研究を行う。 ②生徒会活動・学級活動等の場面で生徒の自主的・主体的な取り組みを引き出す。 ③学校教育学類、教職実践研究科との連携を推進しつつ、より一層充実した研究協力体制を目指す。 ④校内の安全管理を徹底し、生徒が安心して活動できる環境づくりに常に配慮する。	
5. 具体的な取り組み	教 育	学習指導：育成すべき資質・能力を踏まえ、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びのスタイルを目指して指導を行う。 生徒指導：生徒理解により一層努め、自主的な活動や生徒同士のつながりを大切にした指導を行う。 進路指導：生徒の将来を見つめ、特性や個性に配慮した指導を行う。
	研 究	各教科等の連携による体系的な伝統文化教育に関する教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究を行い、校内外に研究成果を発信する。
	教育実習 学校実習	基本実習を通して、学生に教師になる自覚・責任を持たせるとともに実践的な指導力を育成する。また、教職実践研究科との連携体制づくりのさらなる協力・充実を図る。
	学校運営	各部会・各学年間の連携を密にし、円滑なコミュニケーションを取りながら学校運営を遂行する。また、保護者や地域との連携を一層深め、連絡を密にし協力体制を強化する。一方、教員の働き方を見直し、長時間労働の削減を進める。